

MUSILO-Colloquium 2012「技術科学と生産技術の交流4」 (併催) 第16回JZK研究会

【趣 旨】工学と工業が強い絆で結ばれると、技術者の養育成また技術遂行の場で様々のよい効果が生まれる。本コロキウムは前3回に続けて、日頃互いに接触が乏しい技術科学の第一線研究者(大学)と生産技術の frontline 技術経営者(企業)が一堂に会し、技術研究と技術者教育に関し刺激し合う。普段遠い存在のもの同士が集い、教え教えられ、基礎と応用それぞれの道確かめ、共に新たな明日へ向かって弾みをつける。



【主 催】室蘭工業大学・東京、信州大学・産学連携、中小規模材料加工実践技術経営(JZK)研究会

【日 時】2012年01月27日(金) 13:00-20:00(受付12:00-)

【会 場】NASICホール(東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル15F ☎03-5466-1200)

【話 題】

挨 拶 コロキウム開催にあたって 室蘭工業大学長 佐藤一彦・信州大学副学長 三浦義正
基調講演 ものづくり技術の創造と確立

上原 啓司(元・ソニー(株)顧問、元・高橋経済産業研究財団顧問/JZK)

第1部 技術科学の成果

- 1)「光機能性分子材料の特性と可能性」中野 英之(室蘭工大教授・応用化学)
- 2)「太陽光エネルギーの有効活用技術」MYO THAN HTAY(信州大助教・電気電子工学)
- 3)「低温燃焼の実現とその可視化」廣田 光智(室蘭工大准教授・機械工学)
- 4)「スマート材料を用いた構造物の高性能化」亀山 正樹(信州大准教授・機械工学)
- 5)「ボルト締結鋼板の衝撃破断現象」藤木 裕行(室蘭工大准教授・機械工学)
- 6)「超精密/極微細切削加工技術の開発」神 雅彦(日本工大教授・機械工学/JZK)

第2部 「技術教育」総合討論

ものづくり技術者の養育成(3) 国際交流性/講師、大学関係者、JZK研究会ほか全参加者

第3部 科学と技術の交流(交流会)

講師を囲んで懇談(立食)・有志スピーチ/来賓、全参加者

【聴講費】3,500円(交流会費3,000円を含む、当日受付でお支払いください)

【申込先】先着60名。お名前、ご所属・連絡先住所(電話)を記して、下記世話人アドレスまで
締切り:2012年1月15日(必着)

【世話人】室蘭工業大学顧問・JZK研究会代表 町田輝史(matitate@nifty.com)

信州大学産学連携コーディネータ 杉原佳代子(shinshu-u-collabo@bz01.plala.or.jp)